

会 長 就 任 の ご 挨拶

適正な賃貸管理業の実現と 会員メリットのさらなる充実に向けて



一般社団法人
全国賃貸不動産管理業協会
会 長 佐々木 正勝

このたびの役員改選におきまして、会長として新たに就任いたしました。これまでの一般社団法人全国賃貸不動産管理業協会（以下、全宅管理）の役割を踏まえ、本会の目指すべき方向性を早期に示し、賃貸不動産管理業務の標準化実現に向けた取り組みを継続・展開させることで、会員の皆さまと共により良い賃貸不動産管理業の確立を目指していく所存でございます。

全宅管理は会員支援制度のさらなる確立、社会的信用の確保を目指すため、平成23年4月に、それまで10年続いた賃貸不動産管理業協会を法人化し、分離独立いたしました。法人化移行以後5年が経過し、この間会員の皆さまのご理解をいただき、賃貸管理業務に関する様々なノウハウの提供を実施してきました。

しかしながら、現在の賃貸市場は大変厳しいものがございます。昨今、不動産業界は人口減少に伴い、既存の資産を有効活用するストック重視社会の到来により、その形態は目まぐるしく変化しています。

業務全体が高度化され、それぞれの事業が多様化される中で、私たち賃貸管理会社に望まれるものは、消費者および事業者に「安全で安心」な管理業務の提供と、専門家としての高い技能・知識に基づいた情報の提供にほかなりません。

皆さま方のお力添えをいただき、現在の会員は全国で約5,900社となりましたが、業界のオピニオンリーダーとしての役割を担うには数の上でもまだまだ少ないと感じています。今後一層、「不動産業務は管理業務に始まり管理業務に終わる」という認識のもと、会員の皆さまにとってメリットのある協会になるよう努めていかなければなりません。

そのための取り組みの一つとして、6月1日よりクラウド型管理システム「全宅管理業務支援システム」の提供を開始いたしました。本システムはプロパティデータバンク株式会社協力のもと、同社のクラウド型ASPサービス「@プロパティ」を新たに本会会員向けにシステムサービスを構築し、本会独自のサービスとして提供しているものであります。本会が独自にサービス提供することによって、スケールメリットを活かしたシステム利用料の設定が実現し、あわせて業務の効率化および適正化を図ることが可能となりました。

そのほかにも研修会の開催や、各種ツール・最新情報の提供などを通じて会員の皆さまの業務を支援していきたいと考えております。

最後に、会員の皆さま方のますますのご健勝とご繁栄をお祈り申し上げますとともに、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。